

首都圏拠点を統合・移転し、2026年11月「住友不動産千代田富士見ビル」へ ～全社コンセプト「HOME」を体現し、社員ファーストな次世代の働き方を推進～

旭情報サービス株式会社は、さらなる事業拡大と働き方改革の推進を目的として、首都圏の拠点(本社・東京オフィス・横浜オフィス)を統合し、2026年11月に「住友不動産千代田富士見ビル」へ移転することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

1. 移転・統合の背景

当社は今後のさらなる飛躍に向け、「働き方改革の推進」「魅力あるオフィスの構築」「業務の効率化」を最重要課題と位置づけています。当社には、お客様先に常駐する社員と、自社オフィスで業務を行う社員が共に在籍しています。今回の統合移転により、すべての社員が等しく快適に過ごせ、自律的に働ける「社員ファースト」な環境整備を加速させます。

2. 移転先の概要

所在地：東京都千代田区富士見1丁目8-19 住友不動産千代田富士見ビル5F

移転完了予定：2026年11月中旬

対象拠点：東京オフィス(本社・東京)、横浜オフィス

3. 業績に与える影響

本件が通期の業績に与える影響につきましては、軽微であると見込んでおりますが、今後予想の修正が必要になった場合においては、改めて速やかに開示いたします。

4. その他

現本社と移転先は同一地区内(東京都千代田区)であるため、本移転に伴う定款の変更はございません

引き続き、より一層のサービス品質向上に取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

新オフィスのコンセプト「HOME」

2025年9月に移転した大阪オフィスに続き、新拠点でも全社共通コンセプト「HOME」を導入します。

以下の4つの軸をもとに、社員が主体的に関わりたくなる環境を構築し、エンゲージメントの向上を図ります。

H (Harmonious Design — 調和のとれたデザイン)

木目や植物、自然の色味を取り入れた落ち着いた空間

O (Open Collaboration — オープンな協働)

壁の少ない開放的なレイアウトとカフェスペースにより、部署の垣根を超えたつながりを促進

M (Mindful Working — 心地よく集中できる働き方)

フリーアドレスやABW(Activity Based Working)を導入し、業務内容に合わせて最適な場所を選択可能

E (Engaging Environment — 関与したくなる空間)

カジュアルな対話を生むデザインを採用し、社員が主体的に関わりたくなる職場を構築



新オフィス内には、オープンミーティングスペースを兼ねたカフェエリアやラウンジ、集中して作業ができるフォーカスエリア、大型モニターを備えたりフレッシュエリアなどを設け、業務やシーンに合わせて最適な環境を選択できる多様な働き方を実現します。